

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生 活		東京書籍
総 評		<p>児童が主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、調べること、伝えることを大切にしている。学校生活をスタートする児童と保護者に生活科について説明するガイドや入学当初の授業について示すなどの工夫がある。</p> <p>幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージできる工夫がされているが、スタートカリキュラムの分量が多い。(P1~13)</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上 P1~13 など「がっこうせいかつすたあと」で児童も保護者も安心できるような写真やイラストを使用し、言葉も精選されている。①</p> <p>○ 発言の例が吹き出しでたくさん示され、思考力・判断力、表現力が育つように配慮されている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P1~13 に「がっこう せいかつ すたあと」を設置し、学校生活をスタートする児童と保護者に生活科について説明するガイドや、入学当初の授業について示すなどの工夫ができています。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に使うことができています。⑦</p> <p>○ 上下巻末 P115~112、P107~128 に安全のことや学び方、どんな場所にどんな生き物がいるかなどが掲載されており、学びの手立てとなっている。③</p> <p>○ 吹き出しの言葉が精選されており、思考の方向性がわかりやすい。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 全体的にページが大きく、図や写真も大きく鮮明である。③</p> <p>○ 上巻のポケット図鑑が実際の大きさなので児童がイメージしやすい。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 上では、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、春・夏 P44~45、秋 P70~71、冬 P96~97 など季節の変化に目を向けられるようになっている。②</p> <p>○ 下 P23~32、P71~87 では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P45 では各地の特色や伝統的行事などの写真を使い、暮らしについて考えやすい工夫がされている。①</p> <p>○ 下 P100~101 では児童手書きの作文や新聞などの成果物を掲載し、まとめ方を参考にできるよう工夫されている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下 P83 の「つたえ方をえらぼう」で3つの方法が示されているが、選ぶことにより他の方法を考える力が育ちにくい。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 下 P51~P53 の「うごく うごく わたしのおもちゃ」では、児童のシートが載っているが、同一人物のものでないため、工夫や変容がわかりにくい。⑥</p> <p>○ 下 P30~P31 の地図中の表記で使われている漢字の中に学習していない漢字もあり児童にとって難しい。③</p>
	3 外的要素	<p>○ 教科書が大きく、重いが文字は小さい。机のスペースが狭くなり、作業がしにくくなる。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P28~29 など他教科（3年社会）との関連に工夫がされているが、町探検で活用する際など児童にとっては関連がわかりにくい</p>
	5 資料・その他	<p>○ 下 P128 のデジタルカメラは、タブレットなど、実際に使われているような、なじみのあるものではないため配慮が必要である。②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生 活		大日本図書
総 評		<p>季節に沿った大単元構成で、子供の意識に沿った無理のない活動展開ができるように工夫されている。表紙に穴が開いているように見えたり、凹凸をつけたりしている。「見る」「さわる」といった感覚を活用し、子供が対象に働きかけるようになっている。</p> <p>国際理解など他社にはない要素があるが、情報量が多く子どもが処理しきれない可能性がある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P76～77 で、児童の試行錯誤が生まれるような教室環境の工夫がイラストで表現されている。③</li> <li>○ 上 P83～85 では児童の発言の例が吹き出しでたくさん示され、思考力・判断力、表現力が育つように配慮されている。④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P1～7 に「しょうがっこう せいかつ はじまるよ」を設置し、学校生活をスタートする児童に生活科についてがわかるイラストや写真を使い、入学当初の授業の特色を示す工夫ができています。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいようにできています。⑦</li> <li>○ 巻末の「がくしゅうどうぐばこ」上 P104～129 下 P106～137 に安全のことや学び方が掲載されているのが学びの手立てとなっている。③</li> <li>○ 上 P32～33 など吹き出しの言葉が精選されており、思考の方向性がわかりやすい。②</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表紙に穴が開いているように見せたり、凹凸を付けたりするなど、児童が生活科に興味関心を持ち、親しみを感じることができるよう工夫されている。①</li> <li>○ 下 P34 など写真やイラストにアップでとられたものが多く、臨場感があり、児童の興味関心を高めることに効果的である。③</li> <li>○ 下 P113 では、シートを重ねると夜の町の様子が表現されるようになっていて、夜の様子を児童にイメージさせる工夫がされている。③</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P30～31 では春・夏、P44～45 夏、P74～75 では冬と、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、季節の変化に目を向けられるよう工夫されている。②</li> <li>○ 下では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P70～71 では実際の授業から抜き出したと思われるリアリティのある写真が掲載されており、生活科に親しみや興味を持てるように工夫されている。②</li> <li>○ 上 P94 などの板書例が考えを深めていくイメージとして、児童に活動や思考の見通しをもたせる配慮となっている。①</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT を使った学習ができるような工夫が必要である。④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P88 など吹き出しが多い分、イメージはしやすいが、思考の方向が偏りすぎてしまう課題がある。②</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他社の教科書に比べ、サイズが小さいためフォントが小さく見にくい部分がある。②</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P46 など他教科との関連に工夫がされているが、小さいので児童にとってわかりにくい。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P134～135 など資料が豊富であるが、情報が多く1、2年生の児童には処理できない課題がある。②</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生活		学校図書
総評		<p>上下巻ともに「どきどき、いきいき、ふむふむ、にこにこ」のサイクルで学習できるように構成されていて、児童の意識の流れに沿った活動ができるように工夫されている。活動の様子の写真や資料も詳しく、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮されている。</p> <p>子どもの活動は、挿絵やキャラクターのイラストで表現されている。髪型や服装が個性的に描かれている。発見カードや制作物が多数紹介されているが、児童の思考表現を限定してしまう恐れがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上 P46～47 では、「だるまさんがころんだ」「けいどろ」などが紹介され、地域での生活にも生かすことができる。安心して成長できる環境や体力の向上などに生かすことができる。①②</p> <p>○ 下 P28～35 では同一の町の季節ごとの変化の様子が挿絵で表現されていて、季節の変化と町の変化を関連付けて考えることができるように配慮され、論理的思考力や豊かな表現力につながる工夫がされている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P24～25 では、「ものしりのうと」として観察カードの書き方が詳しく紹介されていることから、具体的な活動や体験を活性化することに効果的であり、見つける・比べる・たとえるなど思考表現の基礎を身につける工夫にもつながっている。①⑥</p> <p>○ 下 P2～27 では、町たんけんについて、身近な人・ものが写真やイラストで紹介され、発見カードの例も豊富で、身近な人々や社会に関して表現する意欲を高める工夫がされている。④</p> <p>○ 下 P64～69 ではダンゴ虫の脱皮や幼虫の写真が大きく掲載され、身近な自然のよさや特徴に気づき、意欲的にかかわろうとする態度を養う工夫がされている。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 上 P62～63 では秋の木の葉とどんぐりがわかりやすくイラストで表現されている。③</p> <p>○ 上 P48～49 のように見開きで活動が表現されタイトルの場所が決まっていて、フォントも大きく見やすい。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P112～113 では、作文や手紙の書き方が詳しく表現されている。国語科と関連した指導ができるよう配慮されている。①</p> <p>○ 上下ともに目次で、1年間の学びや活動の時期が分かるように暦として整理されているので、効果的な指導ができる。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P114～124、下 P104～120 では学び方図鑑として、話し方や発表のし方などが詳しく紹介され、学習を有効に進めるために効果的である。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 全体にタブレットやICTの活用場面が少ない。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P82～91 でうさぎ、モルモット、などが中心に紹介されているが、大阪市では、飼育環境を整えるのが難しい。①</p>
	3 外的要素	<p>○ 上下とも表紙のイラストがバラバラに配置されて、関連性がない。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 単元の終わりに振り返りや次につながるページが少ない。①②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 下 P86～89 のように、学習カードやノートや新聞など、児童の成果物として表現されたものが、大人の文字で書かれている。②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生 活		教育出版
総 評		<p>活動や体験をもとに児童が主体的に学べるように工夫されている。児童のイラストや写真、キャラクター「いぐら」を使って学びのヒントを示したり気づきを促したりする配慮が、児童の意欲を高めるために有効である。</p> <p>児童の「たんけんカード」などが詳しく紹介されている。児童の表現を促す場合もあるが、「教科書のような表現が正しい」と思わせ、多様な気づきを阻害する恐れがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下 P. 76～77 のように、単元ごとに考える場面を取り上げるページが設定され、主体的、対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。③</p> <p>○ 上 P. 17（他 4 か所）、巻末の P. 67～68、下 P. 28～29、同 P. 134～136 に児童が安全を意識できるような工夫がされている。（やくそく）①</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P. 8～13 の下部分には、入学前に培ったことを具体的なイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るための配慮となっている。⑦</p> <p>○ 下 P. 106～107 では、黒板に X チャートを使って自分たち自身の成長について整理する様子をイラストと写真で大きく詳しく掲載され、具体的に気づくことができるように工夫されている。②</p> <p>○ 学習の手順や資料・観察の視点（上 P. 36）がよく、児童にとって分かりやすい。⑥</p>
	3 外的要素	<p>○ 上下表紙など、写真やイラストがカラフルで表情も豊かであり、児童が親しみを持ちやすく配慮されている。③</p> <p>○ ページ数表記について、単元ごとに 4 色で分けられている。また、上 P. 30～31 のように、単元導入のページの下欄には、各学年での単元の位置づけが表記されていて分かりやすい。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P. 24～44 では、町探検の活動が効果的に進められるように構成配列されている。①</p> <p>○ 上 P. 127～136P. 127～136 では、「学びのポケット」と題して各教科の技能や考え方につながる情報が掲載され、教科横断的な視点が盛り込まれている。①</p> <p>○ 上 P. 21（他 9 か所）、下 P. 19（他 9 か所）に「まんぞくハシゴ」が掲載され、単元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P. 116～117 では、四季の自然の変化が写真を見て分かるように構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。②</p> <p>○ QR コード（動画）があり、家庭でも意欲的に学べる。②</p> <p>○ 上 P. 6～7 の児童が 2 年間で成長し、下 P. 137 につながるストーリーとして表現されており、児童が自分の成長を重ねることができる。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 話し合いの授業場面で、タブレットや ICT 活用が少ない③</p> <p>○ 児童の発達段階を考えると、上 P. 28～29 で、公園施設・遊びのルールにふれ、その後 P. 48～49 の学習につなげる方が安全である。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 下 P. 84～100 の「作ってためそう」では、おもちゃを使って自ら生活に生かしていこうとする考える活動があれば良かった。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 上 P. 73 のキャラクターのつぶやきの字が背景の中で小さくて分かりにくい。そして、P. 97 のうけねらいは不要である。②</p> <p>○ 上 P. 21 の見出しはゴシック体であり、「て」の濁音の点の位置が違っているため、ひらがな習得時の児童に混乱が生じる恐れがある。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P. 60～81 など、活動が限定される恐れがある。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 下 P. 123 のタブレットに紐をつけるなど落とさない工夫が欲しい。①</p> <p>○ 下 P. 47 の写真は、監修者ではなく、身近な地域の方などが児童にとって実現可能性があり、ふさわしい。②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生 活		光村図書出版
総 評		<p>活動や体験をもとに児童が主体的に学べるように工夫されている。特にイラストや写真、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の印を使って学びのヒントを示したり気づきを促したりする配慮がなされているため、児童の意欲を高めるための手助けとなっている。</p> <p>各巻末には「ひろがるせいかつじてん」が掲載されている。児童の活動を促すには有効であるが、タブレット活用場面がない。また、「あらかず、つたえる」については、上下巻ともに同じ内容である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 20 をはじめ、各所に「どうすれば」よいか場面を取り上げるページが設定され、道徳教育に生かすことができる。⑤</li> <li>○ 上 P. 13、P. 138～139、下 P. 22（他3か所）、巻末の P. 98～99 に児童が安全を意識できるような工夫がされている。①</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 4～13 には、小学生になったら出会う新しい人・もの・ことを写真やイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図るための配慮となっている。⑦</li> <li>○ 上下ともに、各単元の振り返りの場面では、巻末のシールを用いて、整理できるようになっている。また、学年末には、そのシールを見開きページ（上 P. 136～137、下 P. 96～97）に貼りかえて自分自身の成長に気づくことができるように工夫されている。②</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 裏表のイラスト表紙など、イラストが豊富でソフトな色づかいであるため、絵本のように児童が親しみをもちやすく配慮されている。③</li> <li>○ 表紙のコーティングが丈夫で、各ページの用紙の厚みや滑りにくい表面加工のため、児童がページをめくりやすい。①</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 107～110 では、「きせつのおくりもの」の写真が大きく掲載され、四季の自然の変化を効果的に振り返ることができる。①</li> <li>○ 上 P. 27（他7か所）、下 P. 17（他7か所）に「したことや、やってみいたいこと」をシールに書いて貼るページが掲載され、單元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 112～123 では、四季の自然の変化がイラストや写真で構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻ともに、タブレット活用の話し合いの場面がない。③</li> <li>○ 單元ごとに「ホップ、ステップ、ジャンプ」として、活動が決まっているため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を展開するためには、配慮を要する。③</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の「見つける、くふうする」「あらかず、つたえる」（上 P. 142～143、下 P. 102～103）については、上下巻ともに同じ内容のため、児童の発達に応じた活動の工夫が必要である。振り返りのシールの台紙となるページのイラスト（上 P. 136～137、下 P. 96～97）も同じである。⑤</li> <li>○ 外国人が登場しないのは、本市の小学校の実態に合わない。①②④</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上の全148ページ場合、イラストと言葉のみは、65ページで、下108ページの場合、68ページであり、写真の活用が少ない。上巻が下巻より40ページ多く、上巻が重い。③</li> <li>○ 上下巻ともに巻末シールの色分けは、ページごとに同じである。学習指導要領の内容に合わせて、單元ごとに配色すると分かりやすい。④</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 74～75 など、言語活動が多く活動が限定される恐れがある。②</li> <li>○ 育てる植物の生長の様子が分かりにくい。上 P. 28～43①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻ともに、巻頭・巻末の工藤直子氏の詩に合わせた構成となっており、児童の視点からはやや離れていると感じられる。②</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生 活		啓林館
総 評		<p>「ひと・もの・こと」など活動の視点を設け、児童が論理的に考えたり、表現するときには分類したりできるように工夫されている。</p> <p>教科書に掲載されている板書の例には、思考ツールを使用したものが掲載されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができるように配慮されている。</p> <p>情報機器の使用した活動例が少なく、タブレットを配置されている大阪市の学習状況としては、物足りなく感じる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P16・17 や下 P128 に通学の約束や災害時の避難の約束が示され、子どもたちの安全について配慮されている。①</li> <li>○ 上 P45 や下 P27 には、問いかけている吹き出しや、下 P30 に話し合っている挿絵、上 P92 や P99、下 P94 に思考ツールが使われている板書例が掲載されていて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができるように配慮されている。③</li> <li>○ 上 P68～69 には「大せつないのち」や下 P84～85 の「わたしの町」では道徳教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に資するように配慮されている。②</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ QR コードを使って、ホームページや動画を見ることができ、活動の見通しや例を示すことができる。①</li> <li>○ 下 P86～95 「町たんけん」では、写真や学習の流れが詳しく書かれ、児童が身近な人々や社会を自分との関りで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるように工夫されている。④</li> <li>○ 上 P8～11 「きになるばしょにいてみよう」では、学習する観点として、もの・ばしょ・ひとや、下 P64～65 「あそび方やルールをくふうしよう」では、くらべる・ためす・くふうする等の考える視点が明示されている。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P31 など児童が実際に活動をしているような写真や、ワークシートが掲載されており、活動の様子がわかりやすくなっている。③</li> <li>○ タイトルなど見やすいユニバーサルデザインフォントや内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。②</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P17 や P33、下 P67 や P83 など、「できるかな できたかな？」で学習の振り返りを行えるように配慮され、活動が連続発展するよう工夫されている。②</li> <li>○ 上 P64、65 や P68 に国語科や図画工作科、体育科、道徳科など教科横断的な視点があり、効果的な指導が行えるように工夫されている。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻とも「かくしゅうずかん」が巻末にあり、活動のルールや方法や話し合いのヒントなどが詳しく掲載されている。①</li> <li>○ 上 P74～75 や P81 の写真が実物大で掲載されているので、児童がイメージしやすく興味関心を高める工夫となっている。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報機器の活用について、発表などで使用している写真は掲載されているが、使い方や活用の仕方の情報量が少ない。④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上の「生きもの大すき」の単元では、多くの大阪市の学校では触れ合うことができない生き物が掲載されているので、具体的な活動や体験についての学習をするには配慮を要する。①</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P1 の「すたーとぶっく」のページが他ページより小さく、最初のほうのページがめくりにくくなっている。①</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次を見たときに、どの季節に学習すればよいかのかわかりにくくなっている。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートが掲載されているが、児童の実態よりも文の量が多いことやその例文に児童の思考が流されてしまう恐れがある。</li> </ul>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第2地区）

生活		日本文教出版
総評		<p>児童が主体的対話的で深い学びができるように工夫されている。各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくために有効である。生き物図鑑の構成も分かりやすい。</p> <p>活動の写真や資料などを数多く詳しく紹介している。全部やろうとすると、焦点が定まらず、学びが深まらない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下 P78～79 では、「町のすてき」というタイトルで地域に住む様々な人が紹介されている。その中で安全な地域について気づきが深まるように工夫されている。①</p> <p>○ 各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくために有効である。③</p> <p>○ 上 P130、下 P114～115 では考える技法が紹介され、児童の発達段階に応じた論理的思考力判断力の育成に効果的である。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P36～46 など、ページ上部に「てをあらおう」など、生活上必要な技能に着目させる工夫がある。③</p> <p>○ 上 P4～17 スタートカリキュラムのページであると明確に位置づけられ、写真やコメントを通して、幼児教育との円滑な接続ができるように工夫されている。⑦</p> <p>○ 下 P100～111 では自分の成長について振り返る中で、今まで関わってくれた人に対して意識が向くように工夫されている。また、単元の終わりには発表会に招待することで自分自身の成長について考え、表現することができるように配慮されている。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 表紙は上下とも子どもの姿が写真で表現され、「わたしとせいかつ」という文字も大きく見やすい。子どもが自分自身のこととして親しみやすい。③</p> <p>○ 上 P59 など生物の写真が、鮮明で水のしずくと生物の興味深い場面を切り取っている。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P98～99 のようにふりかえりの活動を意識したページが配列され、学んだことを生活に生かしたり、人とのつながりに生かしたりすることができるよう配慮されている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P124～143、下 P112～135 にわたって「ちえとわざのたからばこ」というタイトルで観察や電話のかけ方、インタビューの仕方など学習に役立つ技能が詳しく記載されている。写真や図、コメントが適切かつ丁寧でわかりやすい。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ タブレットパソコンの活用場面などがあればよかった。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 活動の中で、生活上必要な習慣や技能を身につけるような配慮があればよかった。特に学校探検や町探検の活動など。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 紙質が悪い。①</p> <p>○ 低学年にしては文字が小さい。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 他教科との関連を意識したページが見つげにくい。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P55 注意する生物の写真はあるが、どのようにすればいいのか説明があればよかった。②</p>